

MRI（拡散強調画像、磁化率強調画像）を用いた

子宮筋腫の新たな評価方法の構築

今回、京都府立医科大学は、子宮筋腫を対象にした MRI 検査に関する研究を実施いたします。そのため、京都府立医科大学附属病院で子宮筋腫の MRI 検査を受けられた患者様の診療録を調査させて頂きたいと考えています。

本研究の実施にあたり、京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

研究の目的

子宮筋腫の画像診断には MRI 検査が有用とされています。MRI の発達により、最新の撮影方法では、ミクロのレベルでの血流の程度、硬さ、微量の出血など、これまでとは異なる情報を得られることができるようになってきました。この撮影方法を用いれば、子宮筋腫の性状評価や、治療効果の予測などができる可能性があります。本研究の目的は、最新の撮影方法の有用性について検討することです。

研究の方法

・対象となる方について

京都府立医科大学附属病院産婦人科で子宮筋腫の疑いと診断され、平成 20 年 1 月 1 日から平成 32 年 12 月 31 日の間に当院で MRI 検査を受けられた患者さまが対象となります。

・研究期間： 医学倫理審査委員会承認後から 2020 年 3 月 31 日

・方法

当院放射線科で子宮筋腫のために MRI 検査を受けられた方について、診療録（カルテ）より以下の情報を取得します。MRI の画像所見や解析結果と、手術病理診断との対比を行います。今回の研究では通常の撮影に加えて、最新の撮影方法を追加しています。従来よりも検査時間が 6 分程度長くなっていますが、この撮影方法は特に新たな処置を必要とするものではありません。

・研究に用いる情報について

病歴、月経周期、MRI データ、手術所見、病理学的所見、等

・個人情報の取り扱いについて

患者さまの測定結果、カルテ情報をこの研究に使用する際は、氏名、生年月日などの患者さまを直ちに特定できる情報は削除し研究用の番号を付けて取り扱います。患者さんと研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、インターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、入室が管理されており、第三者が立ち入ることができません。

また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、患者さまが特定できる情報を使用することはありません。

なお、この研究で得られた情報は研究責任者（京都府立医科大学 放射線医学教室 高畑 暁子）の責任の下、厳重な管理を行い、患者さまの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

・情報の保存および二次利用について

カルテから抽出した情報は原則として、この研究のために使用し結果を発表した後、京都府立医科大学放射線科医局において研究責任者（助教・高畑 暁子）の下、10 年間保存させていただいた後、研究用の番号等を削除し、廃棄します。

保存した情報を用いて将来新たな研究を行う際には、あらためてその研究計画を医学倫理審査委員会で審査し承認を得ます。

研究組織

研究責任者 京都府立医科大学 放射線医学教室 助教 高畑 暁子

研究統括者 京都府立医科大学 放射線医学教室 教授 山田 恵

お問い合わせ先

患者さまのご希望があれば、参加して下さった方々の個人情報の保護や、研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画及び実施方法についての資料を入手又は閲覧することができますので、希望される場合はお申し出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、平成 32 年 8 月 31 日までに下記の連絡先までお申し出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

京都府立医科大学 放射線医学教室

助教・高畑 暁子（たかはた あきこ）

電話：075-251-5620